

## 謝辞

2002年4月、私たちは、地球研の最初のプロジェクトのひとつとして、琵琶湖流域での研究を始めました。それから、終了するまでの5年間、多くの皆様に励ましのお言葉をいただくとともに、研究遂行の上でたいへんお世話になりました。特に、琵琶湖流域の調査研究の現場では、下記のように地元の皆様、滋賀県をはじめとする行政機関の皆様、研究機関の皆様に、多大なるご支援・ご協力をいただきました。また、講演やワークショップなどの場でも貴重な教えをいただきました。ここにはとてもすべての方のお名前を挙げることはできませんが、本当にありがとうございました。

また、滋賀県琵琶湖環境部水政課、滋賀県琵琶湖環境部林務緑政課、滋賀県県民文化生活部（旧企画県民部）土地対策課からは、滋賀県GISデータの利用を、水土里ネット愛西（愛西土地改良区）からは、稲枝地区のGISデータの利用をご承諾いただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、本プロジェクトの流域管理研究の取り組みを、新しい「流域環境学」また「地球環境学」構築の第一歩として、この最終成果報告書にまとめることができました。お世話になりましたすべての方々と機関に、プロジェクトを代表して心から感謝申し上げます。

お世話になった方々

滋賀県、滋賀県湖東地域振興局、滋賀県東近江地域振興局、滋賀県農業技術振興センター、彦根市、彦根市稲枝支所、彦根市稲枝地区連合自治会、水土里ネット愛西（愛西土地改良区）、みずほ文化センター、稲枝地区各町の自治会、稲枝地区の農家や住民の方々、守山市赤野井地区の住民の方々、NPO法人びわこ豊穰の郷、集水域研究会（滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター、滋賀県立大学、龍谷大学、財団法人滋賀県産業支援プラザ）、JA東びわこ

京都大学生態学研究センター（流動連携研究機関）、科学技術振興機構CRESTプロジェクト「各種安定同位体比に基づく流域生態系の健全性・持続可能性指標の構築」、海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター

2007年3月

プロジェクト・リーダー 谷内茂雄